



### ー 経営拡大・6次産業化を目指してー

今月は、愛知県豊橋市でイチゴを生産している「莓香農園株式会社」代表の河合さんをご紹介します。

莓香農園では最盛期が異なる品種、紅ほっぺ7割と章姫3割の2種を組み合わせて生産しています。品種による収穫時期の調整に加えて、夜冷库も導入し、収量の波が重ならないように配慮しながら栽培を行っています。

イチゴ生産者の家に生まれ、小学生の頃から「もっと大きな面積で経営したい」と思っていたという河合さん。ご両親から農園を継いだのち徐々に栽培面積を拡大し、現在では弊社の新築ハウスも含め、約1haを運営されています。

農園のある豊橋市は愛知県の東南、太平洋沿岸部に位置しており、比較的温帯な地域ですが、冬には「三河のからっ風」と呼ばれる北西の強い季節風が吹きます。強風の通り道になっていることや近年各地で問題になっている台風被害などを鑑みて、大仙の屋根型ハウスを選んでいただき、昨年の2020年9月に竣工を迎えました。

莓香農園では溶存酸素装置やUV-B電球形蛍光灯などの新しい技術にも着目し、積極的に導入しています。河合さんによると「農薬との併用によりUV-Bの効果を実感した。新しい技術はどんどん取り入れていきたい。」とのこと。また、今より栽培面積を増やし、6次産業にも取り組みたいと考えています。傷になってしまったイチゴを自分たちで加工し、ジャムなどの製品として販売できるようにしていきたいと、今後の夢を語っていただきました。

#### 物件プロフィール

- ・ 莓香農園株式会社
- ・ 作物：イチゴ  
(紅ほっぺ、章姫)
- ・ 2020年9月に大仙屋根型  
フィルムハウス2,520m<sup>3</sup>を建設



屋根型ハウス外観



栽培中のハウス内





最高気温が20℃を超えるような日も増え始め、虫の活動も活発になってくる時期となりました。千葉研究農場付近では、毎年春になるとコナジラミなどの害虫が発生します。以前は農薬による対処を主に行っていましたが、昨年の秋頃から誘殺トラップの数を増やし、農薬散布の回数削減を図っています。

栽培面積10a当たり100枚程度の密度で、誘殺トラップを定植から撤去までの期間設置しています。高さは作物から10～30cm上に設置することが推奨されています。私たちは二次育苗を行っており、温室内に苗を持ち込んだ時には苗の高さが比較的高いので、定植後すぐに誘引棚（パイプ）に取付けた誘殺トラップの30cm程下の高さまで成長します。千葉研究農場では低段密植による栽培を行っているため、誘殺トラップの位置を調節する必要はありませんが、長段栽培の場合は生長に応じて誘殺トラップの高さを調整する必要があります。



誘殺トラップ設置済み区画



取付け用針金



## アンテナ掲示板



農林水産省園芸作物課では「自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト」と「農業版BCP（事業継続計画書）」を策定しています。耕種、園芸、畜産の3パターンがありますが、ここでは園芸用のものについてご紹介します。

### ◇ 自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト

「リスクマネジメント編」「事業継続編」に分けられ、以下の3つの項目に基づいてまとめられています。

- ① 予防 … 自然災害等のリスクに対して日頃から備えておくべき項目
- ② 直前対応 … 台風等が来そうな場合に直前に取るべき対策
- ③ 事業継続 … 万が一被災した場合に、早期復旧・事業再開の観点から対策しておくべき項目

### ◇ 農業版BCP（事業継続計画書）

チェックリストの「事業継続編」の各チェック項目に、経営状況に合わせた具体的な内容を入力していくと、農業版BCP（事業継続計画書）が作成されます。BCPとは、自然災害や感染症、大事故が発生した場合においても、中核となる事業を継続させたり、可能な限り短時間で事業を復旧させたりするための方法、手段等をあらかじめ取り決めておく計画のことです。

農業版BCPの作成には、農林水産省ホームページに掲載されているExcel版チェックリストを活用するとスムーズに作成が行えます。BCPを上手く機能させるため、年に1回以上の定期的な見直しを行い、備えが十分か確認しあうことが重要です。ぜひ、これらの資料を活用して、万が一の時に備えて準備しておきましょう。



◆ 農林水産省「自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストと農業版BCP」 [https://www.maff.go.jp/j/keiei/maff\\_bcp.html](https://www.maff.go.jp/j/keiei/maff_bcp.html)

ランナー vol.4 | 2021年3月発行 掲載記事の無断転載を禁じます。

発行所 株式会社 大仙 温室事業部

〒440-8521 愛知県豊橋市下地町字柳目8

[TEL]0532-54-6521 [FAX]0532-57-1751 [E-mail]mail.magazine@daisen.co.jp [登録]



※ メールマガジン配信希望の方は、右のQRコードよりご登録いただくか、上記のE-mailアドレスより空メールの送信をお願いいたします。